



タイトル「**2022年度スポーツ科学部(公開用)**」、フォルダ「**実務経験のある教員による科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS2330		
科目名	スポーツビジネス論		
担当教員	大嶋 康弘		
対象学年	2年	開講学期	前期
曜日・時限	月 1		
講義室	1501	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門基礎		
科目小分類	専門基礎		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 〔DP1-E〕学識・専門技能 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 〔DP3-H〕論理的思考力・批判的思考力 理路整然とした思考を備えつつ、偏りを排除するための内省をもって、問題・課題を合理的に解決することができる。 〔DP4-F〕探究力・課題解決力 問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 〔DP4-I〕理解力・分析力 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取舍選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンレブ リック（C R）との関連 E 1 学識と専門技能（40%） F 1 探究と論拠（20%） H 1 論理的思考力・批判的思考力（20%） I 1 理解・分析と読解（20%）		
教員の実務経験	ニュージーランド国での陸上競技クラブチーム勤務、国内スポーツメーカー（ニシ・スポーツ）勤務、日本陸上競技連盟の勤務を通じ、約25年間様々な事業を展開してきました。本授業では国内、国外で認知されるスポーツビジネスの実情を実務上の知見、経験を活かし講義をしてゆきます。		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 2 進行期～ 3 発展期		
科目概要・キーワード	本講義は、世界中で行われているスポーツを「ビジネス」としての視点から捉えるために必要な基礎的な知識や概念について学修します。また、スポーツの商業化が加速したとされている1980年代から現在までのオリンピックや世界規模の大会などを事例に日本および世界のスポーツビジネスの動向を把握するための様々な客観的データに触れ、スポーツとビジネスの関係性について資料・視聴覚教材等を用いて学びます。 ■キーワード スポーツビジネス・スポーツ産業・スポーツイベント		
授業の趣旨	■副題 スポーツビジネス、スポーツ産業の基本的概念及び、国内外でのスポーツビジネスの実践事例について理解しましょう。 ■授業の目的 国内外におけるスポーツビジネスの基本的な概念や特徴および伝統的スポーツ産業3領域の勃		

	興、発展について理解します。伝統的スポーツ産業3領域から発展を遂げた現在のスポーツビジネスの実践事例について、見るスポーツ、するスポーツの観点からその特徴を把握し、将来更に発展する国内外のスポーツビジネスについて、自身の関心のあるスポーツと関連付け、スポーツビジネスの新たな発展、展開について自らの考えを述べられるようにします。 ■授業のポイント GDP 6 0 0 兆円を目指す我が国では、スポーツ産業の発展が不可欠であり、5 兆円のスポーツ産業の規模を 1 5 兆円まで成長させることが必要とされている。国内でスポーツ産業が勃興した1880年代から現代に至るまで、その発展の過程で起きた様々な事象を認識し、現在の社会で営まれているスポーツビジネスの特徴を把握することにより、今後発展するであろうスポーツビジネスについて論理的に意見を述べられるような人材を育成することが重要です。本講義では、受講者が将来スポーツ産業、スポーツビジネスに関わることを想定し、より具合的な近年のスポーツビジネスの事業展開とその動向、スポーツビジネスのマネジメントについて学修します。	
総合到達目標	■ 国内外のスポーツビジネスについて基本的概念や特徴および社会環境の変化に応じて発展してきたスポーツビジネスの実践事例について理解してゆくことを通して、自身の競技環境の改善や関心のあるスポーツの普及振興活動を最適化する能力を身につけるための基礎知識、専門知識を習得する。 ・ スポーツビジネスの基本的概念及び我が国での伝統的スポーツ産業の3 領域の発展について説明できる。（第2～ 5 回） ・ 見るスポーツのスポーツビジネスに関する基礎的な知識や理論について説明できる。（第 6 ～10回） ・ 大規模スポーツイベントに関する事業展開の実践事例の特徴について説明できる。（第11～ 1 4 回） ・ 学修した内容を自身で取り組むスポーツ活動、あるいは関心の高いスポーツについて関連づけ、その質的向上の方策を考察できる。（第15回）	
成績評価方法	■リアクションペーパー12回（60%）：適用ルーブリック E1、H1 （評価の観点）授業の内容を理解してうえで、自身で関心のあるスポーツの状況と関連付けながら自分の考えについて記述できているかを評価します。 （フィードバック方法）授業時間中、あるいはクラスルームを通じ優れたリアクションペーパーの内容紹介と解説を行います。 ■レポート1回（40%）：適用ルーブリック E1、F1、I1 （評価の観点）当該単元全体の理解度を評価します。 （フィードバック方法）授業時間中、あるいはクラスルームを通じ、優れたレポートの内容紹介と解説を行います。 "	
履修条件	特にありません	
履修上の注意点	特にありません	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ オリエンテーション（全体テーマおよび進め方の説明） ②授業概要 本科目の概要、授業の進め方と評価および学習を行うにあたって留意すべき点などについて概説し、受講生が授業の準備を具体的に行えるようにする。 ③予習（120分） シラバスの内容を一読し、図書館等にある参考書を活用して授業内容の全体像を把握する。 ④復習（120分） 講義ノートを確認し、授業の全体像や評価等、自分の学習計画などについて確認する。
	2	①授業テーマ スポーツビジネスとは何か ②授業概要 スポーツビジネスの概念、伝統的3領域のスポーツビジネスの勃興とその発展について学識を深めるとともに（E1）、その特徴について述べるができるようになる（F1、I1）。 ③予習（120分） 参考図書の授業テーマに該当する部分を一読し、疑問点などについて整理する。 ④復習（120分） 講義ノートおよびクラスルームの授業資料を確認し、マーケティングの概念に関する要点について整理する。

3	①授業テーマ スポーツ用品産業 ②授業概要 伝統的スポーツ産業3領域の1つである、スポーツ用品産業について国内外での産業の発展について学識を深めるとともに（E1）、その特徴について述べるようになる（F1、I1）。 ③予習（120分） 参考図書の授業テーマに該当する部分を一読し、疑問点などについて整理する。 ④復習（120分） 講義ノートおよびクラスルームの授業資料を確認し、スポーツ用品産業に関する要点について整理する。"
4	①授業テーマ スポーツメディア産業 ②授業概要 伝統的スポーツ産業3領域の1つである、スポーツメディア産業について、メディアとスポーツの関わりについて学識を深めるとともに（E1）、スポーツビジネスにおけるその産業の特徴について述べるようになる（F1、I1）。 ③予習（120分） 参考図書の授業テーマに該当する部分を一読し、疑問点などについて整理する。 ④復習（120分） 講義ノートおよびクラスルームの授業資料を確認し、スポーツメディア産業に関する要点について整理する。
5	①授業テーマ スポーツ施設産業 ②授業概要 社会体育施設である国や自治体が保有するスポーツ施設及び民間保有、民間管理施設など様々な課題のあるスポーツ施設産業について学識を深め（E1）、その特徴について述べるようになる（F1、I1）。 ③予習（120分） 参考図書の授業テーマに該当する部分を一読し、疑問点などについて整理する。 ④復習（120分） 講義ノートおよびクラスルームの授業資料を確認し、スポーツ施設産業に関する要点について整理する。
6	①授業テーマ スポーツイベントのマネジメントと経済波及効果 ②授業概要 スポーツイベントを運営する際のマネジメントと国や自治体にもたらす経済波及効果について学識を深め（E1）、その特徴について述べるようになる（F1、I1）。担当教員の実務経験を踏まえ解説する内容を自らのスポーツ環境と比較して考察できるようになる（H1）。 ③予習（120分） 参考図書の授業テーマに該当する部分を一読し、疑問点などについて整理する。 ④復習（120分） 講義ノートおよびクラスルームの授業資料を確認し、スポーツイベントとそのマネジメント、更にスポーツイベントがもたらす経済波及効果について要点を整理する。
7	①授業テーマ トリプルミッションについて ②授業概要 競技スポーツでのスポーツビジネスを発展させてゆくには「勝利」、「普及」、「資金」を獲得するトリプルミッションの達成が不可欠である。そのトリプルミッションの達成を実現するための逆台形モデルについて学識を深め（E1）、その特徴について述べるようになる（F1、I1）。 ③予習（120分） 参考図書の授業テーマに該当する部分を一読し、疑問点などについて整理する。 ④復習（120分） 講義ノートおよびクラスルームの授業資料を確認し、トリプルミッション、逆台形モデルに関する要点について整理する。
8	①授業テーマ スポーツと地域マネジメント ②授業概要 地方自治体の財政の悪化に伴い、スポーツ行政においても官民連携が推進され、スポーツを活用した地方活性化の取り組みが増えている。このようなスポーツを活用した地

	域マネジメントに関する学識を深め（E1）、スポーツビジネスにおけるその特徴について述べるようになる（F1、I1）。担当教員の実務経験を踏まえ解説する内容を自らの関心のあるスポーツの実情と比較して考察できるようになる（H1）。 ③予習（120分） 参考図書の授業テーマに該当する部分を一読し、疑問点などについて整理する。 ④復習（120分） 講義ノートおよびクラスルームの授業資料を確認し、官民連携の施策に関する要点について整理する。
9	①授業テーマ スポンサーシップとスポーツイベント ②授業概要 スポーツイベントのコンテンツ力とスポンサーシップの関係、エンドースメントに関する学識を深め（E1）、スポーツビジネスの観点からその特徴について述べるようになる（F1、I1）。担当教員の実務経験を踏まえ解説する内容を自身の関心の高いスポーツの環境と比較して考察できるようになる（H1）。 ③予習（120分） 参考図書の授業テーマに該当する部分を一読し、疑問点などについて整理する。 ④復習（120分） 講義ノートおよびクラスルームの授業資料を確認し、スポンサーシップとスポーツイベントに関する要点について整理する。
10	①授業テーマ スポーツビジネスの実態I ②授業概要 スポーツビジネスに関わる従事者を講師として招聘し、スポーツビジネスの現場でのスポーツ活動について講義を実施する。講義の内容から自身の関わるスポーツと比較し、そのスポーツの経営上の課題の抽出や新たなビジネスプランなどを述べられるようにする（F1、I1）。 ③予習（120分） ゲスト講師の講義内容に関するスポーツビジネスの実態について調べ、確認しておく。 ④復習（120分） 講義についてまとめ、自身の考えを整理しておく。
11	①授業テーマ プロスポーツビジネス ②授業概要 国内のプロスポーツビジネスについて考察し、課題や特徴について説明できるようになる（E1、F1、I1）。 ③予習（120分） 参考図書の授業テーマに該当する部分を一読し、疑問点などについて整理する。 ④復習（120分） 講義ノートおよびクラスルームの授業資料を確認し、プロスポーツビジネスの概略や要点について整理する。
12	①授業テーマ 海外のスポーツビジネスについて ②授業概要 欧米を中心に発展してきたスポーツエンターテインメントビジネスについての学識を深め（E1）、日本国内のスポーツビジネスの特徴と比較し、将来的な課題を考察できるようになる（F1、I1）。 ③予習（120分） 参考図書の授業テーマに該当する部分を一読し、疑問点などについて整理する。 ④復習（120分） 講義ノートおよびクラスルームの授業資料を確認し、日米におけるスポーツビジネスの特徴を比較し、日本国内の課題に関する要点について整理する。"
13	①授業テーマ オリンピックのスポーツビジネス ②授業概要 ロサンゼルスオリンピック以降のオリンピックにおける権利ビジネスの特徴を把握し、オリンピックの影響力、社会的関心度によるオリンピックブランディングへの影響などの特徴を述べられるようにする（F1、I1）。 ③予習（120分） 1984年のロサンゼルスオリンピックでのスポーツ権利ビジネスの実態について調べ、確認しておく。

シラバス参照	
	④復習（120分） 講義についてまとめ、自身の考えを整理しておく。 " 14 ①授業テーマ スポーツビジネスの実態Ⅱ ②授業概要 スポーツビジネスに関わる従事者を講師として招聘し、スポーツビジネスの現場でのスポーツ活動について講義を実施する。講義の内容から自身の関わるスポーツと比較し、そのスポーツの経営上の課題の抽出や新たなビジネスプランなどを述べられるようにする（F1、I1）。 ③予習（120分） ゲスト講師の講義内容に関するスポーツビジネスの実態について調べ、確認しておく。 ④復習（120分） 講義についてまとめ、自身の考えを整理しておく。 15 ①授業テーマ まとめと授業内レポート ②授業概要 14回の講義のポイントを授業内レポート（総括レポート）としてまとめ、セルフマネジメントへの応用方法について説明できる（F1、I1）。 ③予習（120分） 14回分の講義ノートおよびクラスルームの授業資料を確認し、各回のポイントを整理して総括できるように準備する。 ④復習（120分） まとめと授業内レポートの内容を再確認し、スポーツビジネスにおいて関心の高い産業及び実践方法についてまとめ、経済的補助の獲得のための具体的な方法論を競技力の向上、普及活動、資金獲得のための改善点を整理する。
関連科目	スポーツマーケティング論（SSCS2331S）、スポーツビジネス論演習（SSCS3619S）
教科書	特に指定しません。
参考書・参考URL	原田宗彦 著：スポーツ産業論，啓林書店，2021 畑 攻，小野里真弓 著，編集：基本・スポーツマネジメント，大修館書店，2017 平田竹男 著：スポーツビジネス 最強の教科書〔第2版〕，東洋経済新報社，2017
連絡先・オフィスアワー	■オフィスアワー 火曜日 4 時限目 上記以外の時間は日時を調整の上、ラーニングセンター、または研究室で対応します。
研究比率	

